Wellflow

えるぼし・くるみん
認定企業データブック 2026

女性の活躍推進企業データベースに載る66,545社から、
認定を取っている会社と取っていない会社の数字を並べました。

Flora株式会社　2026年11月

01	対象と方法、認定企業の全体像	P.3–4
02	規模別・業種別の取得率	P.5–6
03	えるぼしと女性管理職比率	P.7–8
04	くるみんと女性管理職比率・男性育休	P.9–10
05	賃金差異は、どの認定とも動かない	P.11
06	9つの指標の一覧	P.12
07	管理職比率の基準を、すでに満たしている会社	P.13
08	基準から読む	P.14
09	数字の読み方について	P.15
10	自社の数字で確かめる	P.16

この資料の3つの数字

12.8pt

えるぼしだけを持つ会社と無認定の会社を、規模と業種をそろえて比べたときの女性管理職比率の差（中央値）

24.0pt

同じ比べ方での、くるみんだけを持つ会社の男性育休取得率の差。女性管理職比率の差は-0.3ポイントで、ほぼありません

45.7%

無認定の会社のうち、えるぼしの管理職比率の基準（業種ごとの平均値）をすでに満たしている会社の割合

©2026 Flora Co.,Ltd.

厚生労働省のデータベースに載る66,545社。使ったのは公開データだけです

厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」（以下、女活DB）のオープンデータ（2026年11月5日時点）を使いました。女活DBには、企業が女性活躍推進法にもとづいて公表する行動計画と数字が載り、えるぼし・くるみんなどの認定状況も企業ごとに記録されています。

数字の記入状況（従業員10人以上の56,810社）

項目	記入のある社数
管理職に占める女性労働者の割合	31,591
男女の賃金の差異（全労働者）	26,847
労働者に占める女性労働者の割合	23,899
男性の育児休業取得率	16,885

66,545社のうち21,423社は行動計画だけを公表しており、数字の欄は空です。

データの取り方

対象	女活DB掲載の66,545社。比率の比較は従業員10人以上の56,810社
4つの区分	えるぼしのみ・くるみんのみ・両方・無認定に分けて比べます。両方を持つ会社を一方に混ぜると、もう一方の認定の差が紛れ込むためです
くるみん	くるみん・くるみんプラス・プラチナくるみん（プラスを含む）のいずれか。トライくるみんのみの5社は、どの区分にも入れていません
えるぼし	えるぼし認定の段階1〜3のいずれか。プラチナえるぼしの122社はその内数です
そろえた比較	企業規模（6区分）と業種（32区分）が同じ組ごとに、認定企業と無認定企業の中央値の差を出し、認定企業数で重み付けして平均。両方が10社以上ある組だけを使っています
社名	個社名と順位は載せていません

出典　女性の活躍推進企業データベースオープンデータ（2026年11月5日時点）（https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/opendata/）をもとにFlora株式会社作成

©2026 Flora Co.,Ltd.

くるみん4,729社、えるぼし4,188社。両方を持つのは1,546社

区分	社数	66,545社に占める割合
くるみん（いずれか）	**4,729**	7.11%
うちプラチナくるみん	884	1.33%
うちくるみんプラス（プラチナを含む）	156	0.23%
えるぼし（いずれか）	**4,188**	6.29%
段階3	2,809	4.22%
段階2	1,352	2.03%
段階1	**27**	0.04%
うちプラチナえるぼし	122	0.18%
無認定	59,170	88.9%

えるぼしのみ・両方・くるみんのみ



どちらかの認定を持つ会社は7,371社。えるぼし認定企業の37%がくるみんも持っています。この資料では、この3つと無認定を分けて比べます。

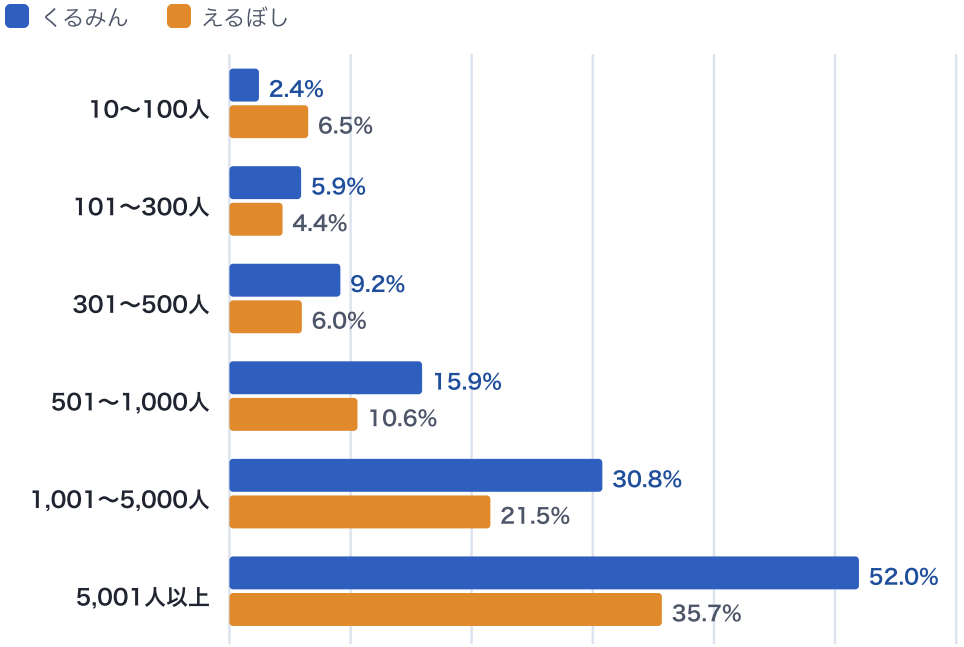
段階1は27社　えるぼし認定企業の67%が段階3で、段階1は0.6%しかありません。理由はP.14で基準から読みます。

女活DBに載る会社の数です　厚生労働省が公表する認定企業数とは一致しません。とくにくるみんは、女活DBへの掲載が認定の条件ではありません（P.15）。

©2026 Flora Co.,Ltd.

5,001人以上では52%がくるみん。100人以下では、えるぼしのほうが多い

企業規模別の取得率（女活DB掲載企業に占める割合）



10人未満の9,718社では、くるみん12社・えるぼし92社です。

規模	掲載	くるみん	えるぼし	両方
10〜100人	16,677	406	1,084	0.7%
101〜300人	23,874	1,414	1,049	1.4%
301〜500人	6,849	628	409	2.1%
501〜1,000人	5,093	810	538	5.0%
1,001〜5,000人	3,709	1,142	799	14.5%
5,001人以上	608	316	217	27.8%

くるみんは規模とともに上がる　100人以下の2.4%から、5,001人以上の52.0%まで、規模の区分が上がるたびに上がります。

100人以下ではえるぼしが多い　10〜100人では、えるぼし1,084社に対してくるみん406社。小さな会社の認定は、えるぼしのほうが約2.7倍多くなっています。

©2026 Flora Co.,Ltd.

301人以上では、金融・保険業の62.4%がくるみん。宿泊・飲食は3.7%

従業員301人以上の16,259社。301人以上の社数が200社以上の19業種を、くるみんの取得率が高い順に並べました。赤字は、えるぼしの取得率がくるみんを上回る業種です。

業種	社数	くるみん%	えるぼし%
金融業、保険業	450	62.4	42.0
化学工業	315	44.1	26.0
学術研究、専門・技術サービス業	232	43.5	41.8
情報通信業	861	39.0	29.2
電子部品・電気機械器具製造業	451	32.6	16.6
不動産業、物品賃貸業	261	28.0	19.9
輸送用機械器具製造業	363	26.7	13.2
建設業	567	24.3	21.5
食料品・飲料製造業	441	22.0	11.3
鉄鋼・非鉄・金属製品製造業	245	21.2	13.1

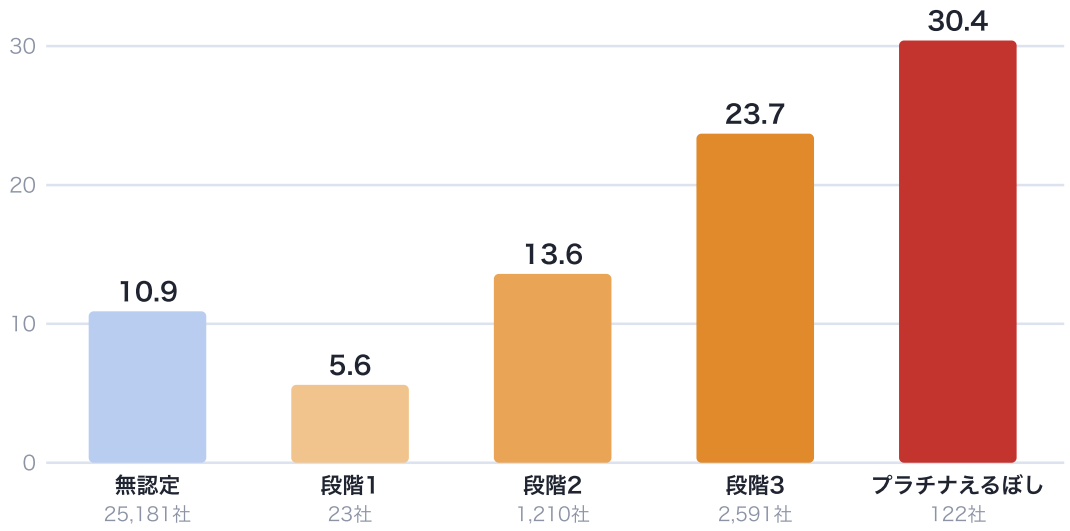
業種	社数	くるみん%	えるぼし%
その他製造業	1,400	16.9	5.6
卸売業、小売業	2,573	13.6	9.2
生活関連サービス業、娯楽業	218	13.3	13.3
教育、学習支援業	384	12.8	4.2
サービス業（他に分類されないもの）	2,447	10.0	11.0
複合サービス事業	220	9.1	5.0
医療、福祉	2,434	8.7	6.0
運輸業、郵便業	922	7.8	4.9
宿泊業、飲食サービス業	730	3.7	4.8

301人以上全体　くるみん17.8%、えるぼし12.1%。業種名は一部を略しています。

©2026 Flora Co.,Ltd.

えるぼしは段階が上がるほど、女性管理職比率が高い。段階3は23.7%

女性管理職比率の中央値（従業員10人以上、記入のある会社）



段階別はくるみんの有無を問わず集計。プラチナえるぼしは段階3と重なって数えています。

段階1の5.6%、段階2の13.6%、段階3の23.7%と、段階が上がるたびに比率が上がります。プラチナえるぼしは30.4%で、無認定の約3倍です。

4つの区分で　えるぼしのみ25.0%、両方14.5%、くるみんのみ8.1%、無認定10.9%です。

段階1は23社　管理職比率の記入がある段階1の会社は23社です。5.6%はおおよその目安としてお読みください。

©2026 Flora Co.,Ltd.

規模と業種をそろえても、えるぼしのみの会社は12.8ポイント高い

規模と業種が同じ会社どうしの差（えるぼしのみ–無認定）

指標	中央値の差	えるぼしのみが高い組
女性管理職比率	+12.8pt	48 / 51組
係長級の女性比率	+19.4pt	25 / 25組
労働者の女性比率	+9.5pt	41 / 44組

規模別の女性管理職比率（中央値）

規模	えるぼしのみ	無認定	差
10〜100人	37.5	18.0	+19.5
101〜300人	25.0	10.0	+15.0
301〜500人	20.3	10.0	+10.3
501〜1,000人	18.5	9.1	+9.4
1,001〜5,000人	14.9	8.5	+6.4
5,001人以上	11.4	10.2	+1.2

基準に入っているから、だけでもない　管理職比率はえるぼしの評価項目のひとつで、段階3は満たしていることが前提です。満たさなくても取れる段階2だけで比べても、差は+6.1ポイント（39組中31組で高い）あります。

えるぼしのみの会社は、そもそも女性の多い会社でもあります（労働者の女性比率の中央値44.4%、無認定31.6%）。そこで、管理職の女性比率を労働者の女性比率で割った値を比べました。

0.63
えるぼしのみ

0.37
無認定

両方の記入がある1,803社と14,102社の中央値。1.00なら、女性が労働者と同じ割合で管理職にいることになります。

女性の多さを差し引いても、えるぼしのみの会社では管理職への登用が進んでいます。

©2026 Flora Co.,Ltd.

くるみんだけを持つ会社の女性管理職比率は、無認定と変わりません

規模別の女性管理職比率（中央値）

規模	くるみんのみ記入社数	くるみんのみ	無認定	差
10〜100人	123	17.4	18.0	-0.6
101〜300人	798	9.1	10.0	-0.9
301〜500人	432	7.5	10.0	-2.5
501〜1,000人	521	7.8	9.1	-1.3
1,001〜5,000人	572	7.0	8.5	-1.5
5,001人以上	137	7.5	10.2	-2.7
全体	2,583	8.1	10.9	-2.8

女性管理職が0%の会社は、無認定で23.0%、くるみんのみで10.8%、えるぼしのみで0.7%です。

全体の中央値では、くるみんのみの会社が無認定より2.8ポイント低く見えます。くるみんのみの会社の24%は1,001人以上で（女活DB全体では6.5%）、大きな会社ほど比率が低いためです。

業種もそろえると　差は-0.3ポイント。64組のうち、くるみんのみが高いのは24組、低いのは35組です。

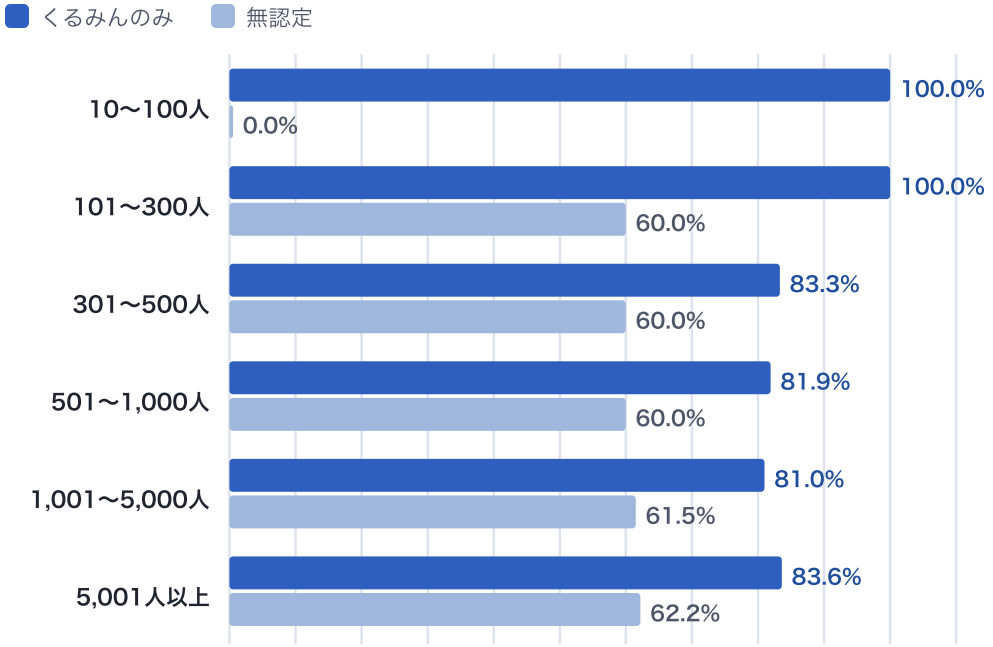
両方を混ぜると＋1.4ポイント　えるぼしも持つ会社を「くるみん認定企業」に含めて比べると、差は+1.4ポイントになります。この差は、えるぼしとの重なりから来ています。

くるみんは子育てと仕事の両立の認定で、女性管理職比率は基準に入っていません。くるみんだけでは、女性管理職比率との関係は見られません。

©2026 Flora Co.,Ltd.

くるみんのみの会社の男性育休取得率は84.6%。無認定は50.0%

規模別の男性育休取得率（中央値）



10〜100人の無認定企業は、対象となる男性が少なく取得者0人の会社が多いため、中央値が0.0%になります。

+24.0pt
規模・業種をそろえた差

49 / 52組
くるみんのみが高い組

男性育休はくるみんの基準の中心にある数字で、101人以上のどの規模でも、くるみんのみの会社が20ポイント以上高くなります。取得率100%以上の会社は、くるみんのみで38.1%、無認定で28.2%です。

えるぼしのみも高い　えるぼしのみの会社も、規模と業種をそろえて+16.7ポイント高くなります（34組中22組）。男性育休は、えるぼしの基準には入っていません。

©2026 Flora Co.,Ltd.

男女の賃金差異は、どの認定ともほとんど動いていません

男女の賃金差異（中央値）

区分	社数	全労働者	正規雇用
えるぼしのみ	1,482	**74.6%**	77.9%
くるみんのみ	2,417	**71.6%**	75.8%
両方	1,354	73.2%	76.2%
無認定	21,591	72.9%	77.5%
プラチナえるぼし	107	75.4%	78.4%

賃金差異は女性の平均賃金を男性の平均賃金で割った値（%）。100%に近いほど差が小さいことを示します。社数は全労働者の欄に記入のある会社。

規模と業種をそろえた差（無認定との比較）

区分	全労働者	正規雇用
えるぼしのみ	+1.3pt	+0.8pt
くるみんのみ	-0.7pt	-1.0pt
両方	+0.1pt	-0.5pt

えるぼしのみの会社は女性管理職比率が12.8ポイント高いのに、賃金差異の差は1.3ポイントです。管理職に女性が多くても、賃金差異はそれだけでは縮まっていません。

賃金差異は、管理職比率のほか、勤続年数や雇用形態の構成、職種の偏りが重なった結果です。どちらの認定基準にも入っていないため、認定とは別に追う必要があります。

101人以上は公表が義務に　2026年4月施行の改正女性活躍推進法で、従業員101人以上の会社は男女の賃金差異と女性管理職比率の公表が義務になりました。

©2026 Flora Co.,Ltd.

認定ごとに動く数字は違い、賃金差異はどれでも動きません

指標	えるぼしのみ 中央値の差	高い組	くるみんのみ 中央値の差	高い組	両方 中央値の差	高い組
女性管理職比率 え	+12.8pt	48 / 51	-0.3pt	24 / 64	+6.7pt	42 / 44
係長級の女性比率	+19.4pt	25 / 25	+2.3pt	24 / 40	+6.9pt	21 / 23
女性役員比率	+6.9pt	22 / 31	+0.9pt	20 / 43	+4.2pt	23 / 30
労働者の女性比率	+9.5pt	41 / 44	-1.0pt	21 / 54	+5.6pt	30 / 37
男性育休取得率 く	+16.7pt	22 / 34	+24.0pt	49 / 52	+23.7pt	31 / 33
賃金差異（全労働者）	+1.3pt	33 / 41	-0.7pt	28 / 59	+0.1pt	25 / 37
賃金差異（正規雇用）	+0.8pt	28 / 41	-1.0pt	17 / 59	-0.5pt	17 / 37
月平均残業時間 え く	-1.6時間	4 / 33	-0.8時間	15 / 44	-1.8時間	9 / 34
年次有給休暇取得率	+1.1pt	7 / 12	+2.5pt	16 / 21	+3.2pt	5 / 7

差は、規模と業種が同じ組ごとの中央値の差（認定企業−無認定企業）を認定企業数で重み付けして平均した値。赤字は絶対値5ポイント以上。「高い組」は認定企業の中央値が無認定を上回った組の数／比べた組の数。組は両方が10社以上あるものだけで、指標ごとに記入社数が違うため組の数も変わります。残業時間は短いほうが好ましい指標です。

え　えるぼしの評価項目に関わる指標　く　くるみんの認定基準に関わる指標（P.14）。えるぼしのみの会社は女性に関わる比率が全般に高く、くるみんのみの会社で大きく差がつくのは男性育休だけです。賃金差異は、どの区分でも差がほとんどありません。

©2026 Flora Co.,Ltd.

無認定の会社でも45.7%は、えるぼしの管理職比率の基準を満たしています

えるぼしの管理職比率の基準（業種ごとの平均値以上）を満たす会社

区分	記入社数	満たす	割合
無認定	25,181	11,507	45.7%
くるみんのみ	2,583	1,045	40.5%
えるぼし段階1	23	4	17.4%
えるぼし段階2	1,210	741	61.2%
えるぼし段階3	2,591	2,201	84.9%
プラチナえるぼし	122	122	100.0%

無認定の会社、規模別

規模	記入社数	満たす割合
10～100人	3,828	61.4%
101～300人	11,572	45.0%
301～500人	4,541	42.1%
501～1,000人	3,145	39.8%
1,001～5,000人	1,885	37.5%
5,001人以上	210	38.1%

業種ごとの平均値（2026年7月～2027年6月の申請）

医療、福祉	44.7%	卸売業、小売業	9.6%
教育、学習支援業	25.3%	運輸業、郵便業	7.6%
金融業、保険業	16.0%	建設業	4.8%
情報通信業	14.2%	化学工業	12.6%
産業計	13.2%	輸送用機械器具製造業	3.1%

出典：厚生労働省 雇均発0624第2号（2026年6月24日）別表4・別紙2。女活DBの業種を同表の区分に対応づけ、該当のない業種は産業計を使いました（対応づけはFlora株式会社）。

無認定の会社の45.7%（11,507社）は、えるぼしの5項目のうち管理職比率をすでに満たしています。自社の業種の平均値と、公表している比率を見比べるだけで確かめられます。

課長級への昇進率の男女比が8割以上でもこの項目は満たせるため、実際に満たしている会社はこれより多い可能性があります。

©2026 Flora Co.,Ltd.

基準を読むと、どの数字が動くかがわかります

えるぼし：5つの評価項目

採用	採用の競争倍率の男女差、または正社員に占める女性比率が産業平均以上
継続就業	平均継続勤務年数の男女比が7割以上、または継続雇用割合の男女比が8割以上
労働時間等の働き方	各月の法定時間外・法定休日労働の平均が45時間未満
管理職比率	女性管理職比率が産業平均以上（産業計13.2%）、または課長級への昇進率の男女比が8割以上
多様なキャリアコース	非正社員から正社員への転換など、直近3年の実績

5項目すべてで段階3、3〜4項目で段階2、1〜2項目で段階1。段階1・2は、満たしていない項目で実績の改善が続いていることも求められます。産業平均は2026年7月〜2027年6月の申請に適用される値です。

段階1が27社しかないこと　満たした項目が少ない会社ほど、改善を示す項目が多くなります。段階1が27社にとどまるのは、この作りによるところが大きいと考えられます。

くるみん：主な基準（2025年4月以降）

男性の育休	育児休業等取得率30%以上（育児目的休暇を含めて50%以上）
女性の育休	取得率75%以上（有期雇用の女性も75%以上）
時間外労働	フルタイム労働者の各月平均30時間未満（または25〜39歳で45時間未満）、月平均60時間以上の人がいない
女性管理職	基準に項目はありません

P.12で大きく動いた数字は、えるぼしでは管理職比率、くるみんでは男性育休でした。どちらも基準に書かれている数字です。

出典：厚生労働省「えるぼし認定、プラチナえるぼし認定」、同「認定制度に係る基準における『平均値』について」（2026年6月24日）、同「くるみん認定について」（2026年2月）。2026年4月からは、女性の健康支援の取り組みを加えた「えるぼしプラス」の申請も始まっています。

©2026 Flora Co.,Ltd.

数字の読み方について

1 各社が公表した数字です

女活DBの値は、企業がみずから公表したものです。管理職の範囲や育休取得率の数え方は各社の定義によるため、会社どうしの比較は目安としてお読みください。

2 記入のある会社だけで集計しています

管理職比率の記入があるのは、従業員10人以上の56,810社のうち31,591社です。数字を公表する会社には、取り組みが進んでいる会社が多めに含まれている可能性があります。

3 一緒に動いていることを示す数字です

認定を取ったから数字が上がったのか、数字が高い会社が認定を取ったのかは区別していません。取得の前後の変化は、この資料では見ていません。

4 2026年11月5日時点の記録です

数字の集計時点は会社ごとに異なり、数年前の値のままの会社もあります。中央値で比べているのは、小さな会社に多い0%や100%に平均が引っ張られるためです。

5 管理職比率の0%は、ほぼ実数です

101人以上で事業年度が終わっていない会社には、管理職比率の欄に0を入れて注記する案内が出ています。これに当たるのは、0%と記入した4,889社のうち41社でした。0%の大半は、実際に女性の管理職がいない会社です。

6 くるみんは一部の会社です

えるぼしは認定の条件として女活DBでの公表が求められますが、くるみんはそうではありません。ここに載るくるみん認定企業は、女性活躍の数字もあわせて公表している会社です。

7 女活DBに載る会社が対象です

取得率は女活DB掲載企業に占める割合で、日本の企業全体の割合ではありません。

©2026 Flora Co.,Ltd.

次の公表までに、3つ確かめられること

1　管理職比率を、業種の平均値と見比べる

公表している女性管理職比率が業種の平均値（P.13）以上なら、えるぼしの5項目のうち1つはすでに満たしています。残りの4項目を確かめれば、どの段階を狙えるかがわかります。

2　認定ごとに、追う数字を分ける

えるぼしは女性管理職比率と、くるみんは男性育休取得率と対応しています。くるみんの取得を、女性管理職を増やす取り組みの成果として報告すると、KPIを取り違えます。

3　賃金差異は、要因に分けて見る

どの認定とも動かない数字です。管理職比率、勤続年数、雇用形態の構成のどれが差を生んでいるかを分けると、打ち手が決まります。

無料ツール（biz.flora-tech.jp、登録不要）

えるぼし認定 判定	/ja/tools/eruboshi-check
くるみん認定 判定	/ja/tools/kurumin-check
男女の賃金差異 計算	/ja/tools/gender-pay-gap-calculator
男性育休取得率 計算	/ja/tools/paternity-leave-rate-calculator
女性管理職比率 シミュレーター	/ja/tools/women-managers-simulator

入力した値はブラウザの外に送信されません。

©2026 Flora Co.,Ltd.

Floraのダイバーシティデータプログラム

女活DBに載る数字は、社内の人事データを一段ずつたどった先にある結果です。Floraは企業の等級・評価・勤怠・異動の記録を性別と年代でつなぎ直し、係長級から管理職への段のどこで、何人が止まっているのかを可視化します。

分析するデータ	等級・役職の履歴、人事評価、勤怠、異動、休業の記録。サーベイをお持ちの場合はあわせて分析します
分析の内容	段ごとの人数と昇進率、条件をそろえたうえでの処遇差、賃金差異の要因分解、休業と復帰後の働き方の影響
お渡しするもの	分析レポートと打ち手のご提案。行動計画や認定申請、人的資本開示に使える集計もご用意します
費用	データの範囲と期間によって変わります。個別のお見積もりをご案内します

Floraについて

150社以上　女性の健康支援と女性活躍推進で、150社以上の企業をご支援しています。

本資料のデータ　集計はすべて公開データによるものです。業種別・規模別の詳しい集計は、個別にお渡しできます。

認定の次に追う数字を、自社の人事データから一緒に選ぶところから始められます。

©2026 Flora Co.,Ltd.

Wellflow

認定ごとに、
一緒に動く数字は違います。

66,545社を並べると、えるぼしは女性管理職比率と、くるみんは男性育休と一緒に動き、
賃金差異はどちらとも動いていませんでした。
認定を取ったあとに追う数字を、基準から選んでみてください。

SERVICE
flora-tech.jp

CONTACT
admin@floramaternity.com

Flora株式会社　〒606-8317 京都市左京区吉田橘町32番地

©2026 Flora Co.,Ltd.